



株式会社クリスタルプロセス

HIGH TECH X-1

EVANCE COAT

エヴァンスコート



※特許出願中

(出願番号2022-34298号 塗布範囲可視化コーティング施工)

推奨資材

塗り込み専用スポンジ



広い面積の塗り込みに使用します。塗装面にキズを入れることなくスムーズに作業することができます。

塗り込み専用クロス



スポンジでは塗り込みにくい入り組んだ箇所の施工に使用します。

マイクロファイバークロス



拭き取り作業に2枚使用します。
※必ず当社マイクロファイバークロスをご使用ください。タオルや他社製品では拭き取りが難しい場合があります。

施工する前のポイント

研磨



施工前到下処理及び研磨を行い洗車キズ、ウォータースポット、水垢、鉄粉等を除去し塗装面を必ず鏡面状態にしてください。

水切り



洗車を行った場合はエアブロー等を使用し、ボディの水分を完全に拭き取ってください。施工中に水分が触れると白濁の原因になります。

養生



塗り込み・拭き取り作業時にガラス面に付着すると除去しにくくなりますので、マスキングテープ等で養生してください。

コーティング施工の流れ

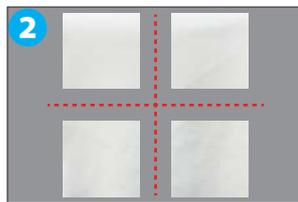
①天井 → ②ボンネット → ③フロントバンパー → ④フェンダー →
⑤ドア(下記参照) → ⑥トランク → ⑦リアバンパー の順番に施工します。
パーツごとに塗り込みと拭き取りを繰り返して仕上げから次のパーツへ移ってください。

上手な施工の方法(ドアに施工する場合)

ドアノブ周辺の施工



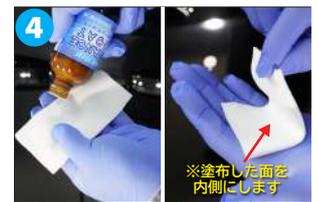
1 パーツをまとめて一度に施工せず、先に入り組んだ箇所および周辺部から本液を塗り込みます。



2 塗り込み専用クロスを1/4にカットします。



3 粉が沈殿するので、均一になるまでピンをよく振ってご使用ください。



4 カットした塗り込み専用クロスをつ二つ折りにして、本品を塗布します。液剤を塗布した面が内側になるように再度二つ折りにします。



5 まずドアノブ等入り組んだ箇所および周辺部を隙間なく塗り込みます。



6 鍵穴の周辺など粉が隙間に入り込みやすい箇所も同様の方法で塗り込みます。



7 入り組んだ箇所・周辺を塗り込んでから次の広い面積の施工へ移ってください。
※拭き取り作業は次の広い面積の施工で行います。

ここがポイント!



※入り組んだ箇所を塗り込む時は必ず、液を塗布したクロスの裏面で施工してください。塗布した面で塗り込むと粉が隙間に入る恐れがあります。

広い面積の施工



よく振った本品を塗り込み専用スポンジに適量塗布してください。



隣接したパーツにはみ出さないよう注意して塗り込みます。



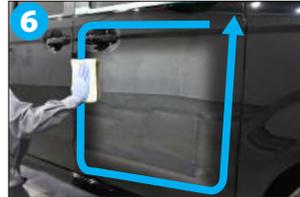
パーツからはみ出さないように画像のように塗り込みを行います。



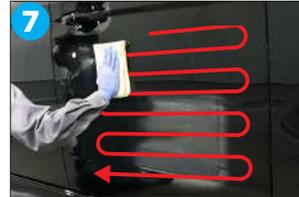
入り組んだ箇所、周辺をマイクロファイバークロス全体を使用して拭き上げてください。



続いて入り組んだ箇所の奥まった部分やパーツの裏側など、液剤が残った部分をムラなく拭き取ります。



先にパーツの外周部分を、隣接したパーツにはみ出さないよう丁寧に拭き取ります。
※隙間に粉が入らないよう注意してください。



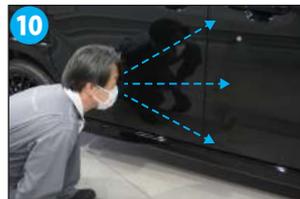
矢印のように隙間なく残った内側部分を拭き取ります。



2枚目のクロスを使用して、施工範囲全体を再度丁寧に拭き取ります。



※拭き取りの時コート剤の粉がクロスに溜まってきたら、車から少し離れた場所で適宜はたいて粉を落としてください。



拭き残しがないか画像のように上下左右視点を変えて確認を行います。拭き残しがあればすぐに2枚目のクロスで拭き取りを行ってください。



拭き取り後、隣接したパネルにコート剤が付着していたり、拭き残しがないか十分に注意します。



ドアの施工が完了しました。同様にパーツごとに塗り込み・拭き取りを繰り返して車全体を仕上げます。

上手な施工の方法(エンブレムに施工する場合)



【ドアノブ周辺の施工】と同様の手順で、エンブレムを塗り込みます。



塗り込みが完了した状態です。



マイクロファイバークロス全体を使って拭き取ります。



エンブレムの周辺や狭い範囲に拭き残しができやすいので注意してください。



拭き残しができないよう丁寧に拭き取ります。

施工後2時間は水・雨・ホコリに触れないように乾燥させてください。
なお、被膜が完全硬化するには1週間かかりますので、それまでは洗車をしないようにしてください。